

料金後納
郵便

不二サッシは窓から夢をひろげていきます

 **Fujisash Report**

FUJISASH 2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日 | 証券コード: 5940

Vol.08

※本通信は9月末時点での株主様にお送りしています。

株主名簿管理人連絡先

三井住友信託銀行 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◀ 営業概況はこちら

☐ 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

TOPICS

「瀋陽遠大鋁業工程有限公司」との 業務提携について

当社は、2020年9月1日、瀋陽遠大鋁業工程有限公司（所在地：遼寧省瀋陽市／以下、遠大アルミ）と業務提携契約を締結いたしました。

遠大アルミは、中国大手アルミカーテンウォールメーカーであり、世界中に豊富な施工実績を有し、日本国内においても数々の実績を積み、当社とも以前より技術提携・製造委託を行ってきた経緯がありました。

今般の業務提携を機に、両社の関係をさらに強化し、当社の持つ技術と遠大アルミの持つ生産能力を融合させ、世界でも厳しい日本の建築基準に適合する製品の供給体制を確立し、国内外市場において売上拡大を目指して参ります。

【瀋陽遠大鋁業工程有限公司の概要】

会社名：瀋陽遠大鋁業工程有限公司（遠大アルミ有限公司）
英文社名：SHENYANG YUANDA ALUMINIUM INDUSTRY
ENGINEERING CO., LTD.

代表者：劉 福涛 (LIU FU TAO)

所在地：中華人民共和国遼寧省瀋陽市経済技術開発区13号
街20号

設立日：1993年4月17日

資本金：3億2329万ドル（約34,330百万円）

売上高：2018年度 40億RMB（約620億円）



光建材『アルビーム ムーブ』 「2020年度 グッドデザイン賞」を受賞

このたび、当社の光建材商品「アルビーム ムーブ」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2020年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。

《受賞商品の概要》

近年、建築と照明を一体化させる「建築化照明」の流れの中で、外装に様々な照明制御や映像技術を加える動きが進んでおります。

「アルビーム ムーブ」は、サッシやカーテンウォールといった外装建材に内蔵したフルカラーLEDを制御し、建物の窓や壁面などに色や映像の演出を加えます。制御システムを屋外に設置可能な建材一体化としたことで設計施工を省力化し、さらに建築物にデジタル表現を取り入れやすくすることで、街の夜景観の向上・建物への付加価値の創造に寄与します。

《参考使用例》

建物のファサードにダイナミックな映像表現が可能です。



株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援ご愛顧を賜り、誠に有り難うございます。

このたび、当社の第40期第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）が終了しましたので、事業の概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長 吉田 勉

2020年12月



不二サッシ株式会社

<http://www.fujisash.co.jp/>

当第2四半期の営業概況について

当第2四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による急速な経済の悪化を受け、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数が賃家を中心に減少し、マンション販売戸数が減少するなど、先行きが不透明な厳しい状況が続いております。形材外販事業においては、市場競争が年々激化しており、事業環境は厳しさが増しております。環境事業においては、売上時期変更などの影響を受けております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高375億2千6百万円（前年同四半期比11.2%減）、営業損失14億5千4百万円（前年同四半期は営業損失9億1千1百万円）、経常損失12億6千8百万円（前年同四半期は経常損失8億7千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失14億8千5百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失10億1千8百万円）となりました。

セグメント別の業績について

〔建材事業〕

建材事業においては、ビル建材事業における短納期物件の取込みや、住宅建材事業における高断熱商品の拡販を推進しましたが、売上高は266億2千5百万円（前年同四半期比8.8%減）、セグメント損失2億5千1百万円（前年同四半期はセグメント損失1億6千2百万円）と減収減益になりました。

〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、コロナ禍における市場環境の冷え込みによる競争激化などの影響から、売上高は85億7千2百万円（前年同四半期比17.9%減）、セグメント損失6億6千1百万円（前年同四半期はセグメント損失1億6千7百万円）と減収減益になりました。

〔環境事業〕

環境事業においては、プラント事業の売上時期変更やコロナ禍による薬剤販売減等の影響を受け、売上高は12億8千万円（前年同四半期比13.4%減）、セグメント利益9百万円（前年同四半期はセグメント利益3千9百万円）と減収減益になりました。

〔運送事業〕

運送事業においては、サッシ及び形材販売の出荷量減等の影響を受け、売上高は8億3千9百万円（前年同四半期比16.7%減）、セグメント利益1億2千7百万円（前年同四半期はセグメント利益1億8千2百万円）と減収減益になりました。

2021年3月期の業績予想について

2021年3月期の業績は、売上高は925億円、営業利益2億円、経常利益4億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益3千万円を予想しております。

なお、2021年3月期の配当は、1株あたり1円（前期1円50銭）を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。